

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年2月12日

【四半期会計期間】 第84期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

【会社名】 中央可鍛工業株式会社

【英訳名】 CHUO MALLEABLE IRON CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 武山尚生

【本店の所在の場所】 名古屋市中川区富川町三丁目1番地の1
(注)上記は登記上の本店所在地であり、実際の本店業務は下記の本社事務所及び日進工場で行っております。

【電話番号】 <052>361-3141

【事務連絡者氏名】 専務取締役 事務部門統括 藤井 彰

【最寄りの連絡場所】 愛知県日進市浅田平子一丁目300番地
中央可鍛工業株式会社 本社事務所及び日進工場

【電話番号】 <052>805-8600

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 小林 英樹

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | | 第83期 第3四半期 連結累計期間 | | 第84期 第3四半期 連結累計期間 | | 第83期 | |
|------------------------------|------|-------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------|-------------------------|
| | | 自 至 | 平成23年4月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年4月1日 平成24年12月31日 | 自 至 | 平成23年4月1日 平成24年3月31日 |
| 売上高 | (千円) | | 14,843,798 | | 16,078,875 | | 20,896,414 |
| 経常利益 | (千円) | | 416,884 | | 755,601 | | 918,454 |
| 四半期(当期)純利益 | (千円) | | 666,742 | | 474,038 | | 986,782 |
| 四半期包括利益又は包括利益 | (千円) | | 534,301 | | 533,583 | | 1,041,769 |
| 純資産額 | (千円) | | 11,940,904 | | 12,862,466 | | 12,448,372 |
| 総資産額 | (千円) | | 18,269,105 | | 19,900,731 | | 20,370,874 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 | (円) | | 45.42 | | 32.58 | | 67.36 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 | (円) | | | | | | |
| 自己資本比率 | (%) | | 63.2 | | 62.5 | | 59.1 |

| 回次 | | 第83期 第3四半期 連結会計期間 | | 第84期 第3四半期 連結会計期間 | |
|---------------|-----|-------------------------|---------------------------|-------------------------|---------------------------|
| | | 自 至 | 平成23年10月1日 平成23年12月31日 | 自 至 | 平成24年10月1日 平成24年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 | (円) | | 15.59 | | 2.06 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では債務問題による景気低迷が続き、中国でも成長鈍化による陰りが見えましたが、アセアン、米国に牽引され、穏やかな成長が持続しました。日本においては、東日本大震災による復興需要はあるものの、電力安定供給への懸念や、円高の長期化、日中間の領土問題の影響で厳しい経済状況が続きました。

当社グループの主要取引先であります自動車業界は、新興国や米国での販売が好調に推移したほか、国内では「エコカー補助金」効果で前年同期比でプラスに推移いたしました。

この様な状況下で、当社グループは、原価低減努力や生産性向上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は160億78百万円（前年同期比8.3%増加）、営業利益は5億26百万円（前年同期比379.8%増加）、経常利益は7億55百万円（前年同期比81.2%増加）、四半期純利益は4億74百万円（前年同期比28.9%減少）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

可鍛事業

当セグメントにおきましては、国内市場での「エコカー補助金」効果により生産量は好調に推移し、建設機械需要は幾分低迷しましたが、当社グループでは、売上高は156億37百万円（前年同期比8.3%増加）、セグメント利益（営業利益）は12億7百万円（前年同期比66.8%増加）となりました。

金属家具事業

当セグメントにおきましては、国内家具市場で販売活動を積極的に展開した結果、当社グループでは、売上高は4億41百万円（前年同期比6.0%増加）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同期比157.6%増加）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は199億円となり、前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少などにより流動資産が15億45百万円減少し、その他（建設仮勘定など）の増加などにより固定資産が10億74百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億84百万円減少し、70億38百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少などにより流動負債が6億54百万円減少し、長期借入金の減少などにより固定負債が2億29百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ4億14百万円増加し、128億62百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は12百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 36,000,000 |
| 計 | 36,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 15,400,000 | 15,400,000 | 名古屋証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数は100株 であります。 |
| 計 | 15,400,000 | 15,400,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成24年10月1日～ 平成24年12月31日 | | 15,400,000 | | 1,036,000 | | 435,439 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 850,800 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 14,543,300 | 145,433 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 5,900 | | |
| 発行済株式総数 | 15,400,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 145,433 | |

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 中央可鍛工業株式会社 | 名古屋市中川区 富川町三丁目1番地の1 | 850,800 | | 850,800 | 5.52 |
| 計 | | 850,800 | | 850,800 | 5.52 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,433,908 | 2,493,025 |
| 受取手形及び売掛金 | 2 4,611,575 | 2 3,486,255 |
| 電子記録債権 | 385,005 | 330,818 |
| 有価証券 | 32,577 | 482,828 |
| 商品及び製品 | 639,660 | 630,927 |
| 仕掛品 | 371,257 | 355,192 |
| 原材料及び貯蔵品 | 411,866 | 430,215 |
| その他 | 275,111 | 354,037 |
| 貸倒引当金 | 52,528 | - |
| 流動資産合計 | 10,108,434 | 8,563,301 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,311,584 | 1,318,387 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 3,640,064 | 3,348,147 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 325,972 | 355,491 |
| その他(純額) | 1,929,215 | 3,181,545 |
| 有形固定資産合計 | 7,206,836 | 8,203,572 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 44,855 | 50,774 |
| 無形固定資産合計 | 44,855 | 50,774 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,013,947 | 3,140,318 |
| 貸倒引当金 | 3,200 | 57,235 |
| 投資その他の資産合計 | 3,010,747 | 3,083,082 |
| 固定資産合計 | 10,262,439 | 11,337,429 |
| 資産合計 | 20,370,874 | 19,900,731 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,858,656 | 3,266,600 |
| 短期借入金 | 85,470 | 86,170 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 185,318 | 203,510 |
| 未払法人税等 | 90,008 | 136,337 |
| 賞与引当金 | 241,964 | 60,561 |
| その他 | 780,317 | 833,801 |
| 流動負債合計 | 5,241,734 | 4,586,981 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,893,230 | 1,737,820 |
| 退職給付引当金 | 61,498 | 62,256 |
| 役員退職慰労引当金 | 170,015 | 167,196 |
| 環境対策引当金 | 87,602 | 38,383 |
| その他 | 468,422 | 445,627 |
| 固定負債合計 | 2,680,768 | 2,451,284 |
| 負債合計 | 7,922,502 | 7,038,265 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,036,000 | 1,036,000 |
| 資本剰余金 | 574,391 | 574,391 |
| 利益剰余金 | 10,476,971 | 10,834,616 |
| 自己株式 | 282,571 | 282,591 |
| 株主資本合計 | 11,804,791 | 12,162,416 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 403,263 | 404,982 |
| 為替換算調整勘定 | 162,122 | 120,670 |
| その他の包括利益累計額合計 | 241,141 | 284,312 |
| 少数株主持分 | 402,438 | 415,737 |
| 純資産合計 | 12,448,372 | 12,862,466 |
| 負債純資産合計 | 20,370,874 | 19,900,731 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 14,843,798 | 16,078,875 |
| 売上原価 | 13,422,239 | 14,131,972 |
| 売上総利益 | 1,421,558 | 1,946,903 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,311,741 | 1,419,943 |
| 営業利益 | 109,817 | 526,959 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,659 | 1,091 |
| 受取配当金 | 19,439 | 21,047 |
| 持分法による投資利益 | 227,184 | 173,660 |
| その他 | 101,926 | 94,825 |
| 営業外収益合計 | 350,210 | 290,624 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,434 | 6,911 |
| 為替差損 | 19,048 | 49,659 |
| その他 | 12,659 | 5,411 |
| 営業外費用合計 | 43,142 | 61,982 |
| 経常利益 | 416,884 | 755,601 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,138 | - |
| 負ののれん発生益 | 12,830 | - |
| 特別利益合計 | 13,969 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | - | 209 |
| 固定資産除却損 | 16,862 | 22,278 |
| その他 | 3,600 | 4,100 |
| 特別損失合計 | 20,463 | 26,588 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 410,390 | 729,013 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20,141 | 171,115 |
| 法人税等調整額 | 279,520 | 67,487 |
| 法人税等合計 | 259,379 | 238,603 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 669,770 | 490,410 |
| 少数株主利益 | 3,027 | 16,371 |
| 四半期純利益 | 666,742 | 474,038 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 669,770 | 490,410 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 86,790 | 1,721 |
| 為替換算調整勘定 | 27,339 | 30,847 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 21,338 | 10,604 |
| その他の包括利益合計 | 135,468 | 43,173 |
| 四半期包括利益 | 534,301 | 533,583 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 531,564 | 517,209 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 2,737 | 16,374 |

【会計方針の変更等】

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) |
|--|
| (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（建物を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,707千円増加しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|------------|-------------------------|------------|-------------------------------|
| みづほ金属工業(株) | 120,000千円 | みづほ金属工業(株) | 110,000千円 |

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|------|-------------------------|-------------------------------|
| 受取手形 | 11,848千円 | 16,645千円 |

3 当座貸越契約及びコミットメントライン

当社及び国内連結子会社(土岐可鍛工業(株))においては、運転資金並びに設備資金の効率的な調達を行うため9取引金融機関と当座貸越契約またはシンジケート方式のコミットメントライン契約(株)三菱東京UFJ銀行を主幹事とするリボルビング・クレジット・ファシリティ契約)を締結しております。これらの契約に基づく当四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 当座貸越極度額の総額 | 3,850,000千円 | 3,850,000千円 |
| リボルビング・クレジット・ファシリティ契約の総額 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 借入実行残高 | | |
| 差引額 | 5,850,000 | 5,850,000 |

4 財務制限条項等

コミットメントライン契約(リボルビング・クレジット・ファシリティ契約)には、「各年度の決算期の末日の連結貸借対照表における純資産の部の金額を、当該決算期の直前の決算期の末日または平成21年3月に終了する決算期の末日の連結貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%の金額以上に維持することを確約する旨」の財務制限条項が付されており、当該条項に抵触した場合は、契約上の全ての債務について期限の利益を喪失する可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 1,011,421千円 | 919,519千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成23年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 58,839 | 4 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月29日 | 利益剰余金 |
| 平成23年11月11日 取締役会 | 普通株式 | 58,839 | 4 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月12日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|-------|
| 平成24年6月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 58,196 | 4 | 平成24年3月31日 | 平成24年6月28日 | 利益剰余金 |
| 平成24年11月13日 取締役会 | 普通株式 | 58,196 | 4 | 平成24年9月30日 | 平成24年12月10日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|---------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 可鍛事業 | 金属家具事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,427,950 | 415,847 | 14,843,798 | | 14,843,798 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | | | |
| 計 | 14,427,950 | 415,847 | 14,843,798 | | 14,843,798 |
| セグメント利益 | 723,689 | 3,852 | 727,541 | 617,723 | 109,817 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 617,723千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|---------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 可鍛事業 | 金属家具事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 15,637,755 | 441,119 | 16,078,875 | | 16,078,875 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | | | |
| 計 | 15,637,755 | 441,119 | 16,078,875 | | 16,078,875 |
| セグメント利益 | 1,207,725 | 9,926 | 1,217,652 | 690,692 | 526,959 |

(注) 1 セグメント利益の調整額 690,692千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(建物を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「可鍛事業」のセグメント利益が11,695千円増加し、「金属家具事業」のセグメント利益が12千円増加しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 45円42銭 | 32円58銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 666,742 | 474,038 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 666,742 | 474,038 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 14,677 | 14,549 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

第84期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年11月13日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

| | |
|--------------------|-------------|
| 配当金の総額 | 58,196千円 |
| 1株当たりの金額 | 4円00銭 |
| 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成24年12月10日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月11日

中央可鍛工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西 松 真 人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内 山 隆 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中央可鍛工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、中央可鍛工業株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。